

応用行動分析学(ABA)に基づいた発達障害者支援(Ⅱ) ～行動の機能を理解し支援に活かす～

日々の支援の中で、課題となる行動にどう対応するのがよいのか、ABA(応用行動分析学)は多くの情報と方略を提供してくれます。

「行動をどのように理解したらいいのだろうか?」～支援の現場で、本人の行動を客観的に捉えることは適切な支援への第一歩です。この研修会では、行動の理由(機能)を理解するための行動機能アセスメントやABC記録(三項随伴性)、支援計画を立てるときの視点について学びます。

対象

広島市内の、発達障害のある人へ支援を行っている事業所(障害児支援事業所、障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等)の職員、教育関係機関の職員など ※支援者に限ります

日時

令和9年1月15日(金)14:00～16:30

会場

東区地域福祉センター3階大会議室【定員100名】
(広島市東区東蟹屋町9-34)

※公共交通機関でお越しください

講師

一般社団法人アジア・パシフィックABAネットワーク
クリニカルスーパーバイザー
認定行動分析士(BCBA)

呑谷 恵 氏

申込

二次元コードかURLから参加申込フォームにて
お申し込みください(先着順)

<https://forms.gle/HAUHFdnDUuY2CV5C8>

申込締切:令和8年12月23日(水)

定員に達した場合は締切日前に受付を終了します。ご了承ください

[申込フォーム]

